

四半期報告書

(第116期 第1四半期)

自 2019年4月1日

至 2019年6月30日

愛知製鋼株式会社

愛知県東海市荒尾町ワノ割1番地

目 次

	頁
表 紙	1
第一部 企業情報	2
第1 企業の概況	2
1 主要な経営指標等の推移	2
2 事業の内容	2
第2 事業の状況	3
1 事業等のリスク	3
2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	3
3 経営上の重要な契約等	3
第3 提出会社の状況	4
1 株式等の状況	4
(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(5) 大株主の状況	4
(6) 議決権の状況	5
2 役員の状況	5
第4 経理の状況	6
1 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
2 その他	13
第二部 提出会社の保証会社等の情報	14

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月9日

【四半期会計期間】 第116期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 愛知製鋼株式会社

【英訳名】 AICHI STEEL CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤岡 高広

【本店の所在の場所】 愛知県東海市荒尾町ワノ割1番地

【電話番号】 (052)603—9227

【事務連絡者氏名】 企画創生本部経理部長 中島 健太郎

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号
愛知製鋼株式会社 東京支店

【電話番号】 (03)3211—2251

【事務連絡者氏名】 お客様本部東京支店長 瀧本 孝則

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第115期 第1四半期 連結累計期間	第116期 第1四半期 連結累計期間	第115期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (百万円)	61,713	63,865	257,315
経常利益 (百万円)	2,951	3,026	11,324
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1,706	1,769	6,503
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,673	1,216	4,165
純資産額 (百万円)	161,002	161,808	161,889
総資産額 (百万円)	279,273	286,968	290,294
1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	86.70	89.89	330.38
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	54.43	53.19	52.58

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの財政状態、経営成績及び株価等に影響を及ぼす可能性のあるリスクに重要な変動はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ3,326百万円減の286,968百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少などにより、3,245百万円減の125,159百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があったものの、期末配当金の支払いなどにより、81百万円減の161,808百万円となりました。

(2) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、堅調な国内需要を背景に緩やかな回復基調が継続したものの、中国の景気減速や米中の貿易摩擦などにより、先行き不透明な状況が続いております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期(61,713百万円)に比べ3.5%増の63,865百万円となりました。

利益につきましては、鍛造品の販売数量減少や副資材・エネルギー価格の値上がりがあったものの、販売価格の値上がりや収益改善活動により、営業利益は前年同四半期(2,701百万円)に比べ286百万円増の2,987百万円、経常利益は前年同四半期(2,951百万円)に比べ75百万円増の3,026百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期(1,706百万円)に比べ63百万円増の1,769百万円となりました。

なお、セグメントごとの売上高は、次のようになっております。

鋼(ハガネ)カンパニー

鋼材の販売数量の増加と販売価格の値上がりにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は33,035百万円(前年同四半期 30,581百万円)と前年同四半期に比べ8.0%増加しました。

鍛(キタエル)カンパニー

鍛造品の販売数量の減少により、当第1四半期連結累計期間の売上高は26,546百万円(前年同四半期 26,848百万円)と前年同四半期に比べ1.1%減少しました。

スマートカンパニー

磁石の売上の減少などにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,515百万円(前年同四半期 3,581百万円)と前年同四半期に比べ1.8%減少しました。

その他事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は767百万円(前年同四半期 701百万円)と前年同四半期に比べ9.3%増加しました。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、974百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	47,600,000
計	47,600,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	19,886,675	19,886,675	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	19,886,675	19,886,675	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減額 (百万円)	資本金 残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	—	19,886	—	25,016	—	27,898

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 203,600	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,657,700	196,577	—
単元未満株式	普通株式 25,375	—	—
発行済株式総数	19,886,675	—	—
総株主の議決権	—	196,577	—

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権1個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が34株含まれております。

② 【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数(株)	他人名義 所有株式数(株)	所有株式数 の合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 愛知製鋼株	愛知県東海市 荒尾町ワノ割1番地	203,600	—	203,600	1.02
計	—	203,600	—	203,600	1.02

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,003	28,742
受取手形及び売掛金	※1 61,652	※1 59,444
有価証券	154	154
商品及び製品	8,538	8,781
仕掛品	20,688	22,002
原材料及び貯蔵品	9,111	9,010
未収還付法人税等	—	384
その他	2,138	2,293
貸倒引当金	△59	△52
流動資産合計	133,228	130,761
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	※2 52,605	※2 53,273
その他（純額）	52,567	52,758
有形固定資産合計	105,173	106,031
無形固定資産	1,792	1,908
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	24,015	24,021
その他	26,138	24,299
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	50,099	48,267
固定資産合計	157,065	156,207
資産合計	290,294	286,968

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※1 30,394	※1 28,228
短期借入金	312	273
1年内返済予定の長期借入金	9	23,159
未払法人税等	574	—
引当金	177	37
その他	※1 19,866	※1 19,624
流動負債合計	51,334	71,323
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	39,296	16,068
引当金	501	359
退職給付に係る負債	16,357	16,494
資産除去債務	697	697
その他	216	216
固定負債合計	77,070	53,836
負債合計	128,404	125,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,016	25,016
資本剰余金	28,016	28,016
利益剰余金	89,585	90,173
自己株式	△1,226	△1,227
株主資本合計	141,391	141,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,946	7,824
繰延ヘッジ損益	9	△15
為替換算調整勘定	1,791	1,444
退職給付に係る調整累計額	1,499	1,408
その他の包括利益累計額合計	11,246	10,663
非支配株主持分	9,251	9,166
純資産合計	161,889	161,808
負債純資産合計	290,294	286,968

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	61,713	63,865
売上原価	52,865	54,776
売上総利益	8,848	9,089
販売費及び一般管理費	6,147	6,101
営業利益	2,701	2,987
営業外収益		
受取利息	12	18
受取配当金	244	230
物品売却益	14	3
為替差益	134	—
雑収入	40	40
営業外収益合計	445	292
営業外費用		
支払利息	43	39
固定資産処分損	122	75
為替差損	—	68
雑損失	28	70
営業外費用合計	195	253
経常利益	2,951	3,026
特別利益		
投資有価証券売却益	—	40
特別利益合計	—	40
税金等調整前四半期純利益	2,951	3,067
法人税、住民税及び事業税	377	281
法人税等還付税額	—	△924
法人税等調整額	606	1,692
法人税等合計	983	1,050
四半期純利益	1,968	2,017
非支配株主に帰属する四半期純利益	262	247
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,706	1,769

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	1,968	2,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	△123
繰延ヘッジ損益	—	△24
為替換算調整勘定	△154	△561
退職給付に係る調整額	△188	△90
その他の包括利益合計	△295	△801
四半期包括利益	1,673	1,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,488	1,185
非支配株主に係る四半期包括利益	185	30

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	128百万円	104百万円
支払手形	105	155
流動負債その他	1	0

※2 過年度に取得した機械装置及び運搬具のうち、国庫補助金による圧縮記帳額は676百万円であり、連結貸借対照表計上額はこの圧縮記帳額を控除しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	3,312百万円	3,760百万円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月22日 定時株主総会	普通株式	1,377	70.0	2018年3月31日	2018年6月25日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	1,180	60.0	2019年3月31日	2019年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鋼(ハガネ) カンパニー	鍛(キタエル) カンパニー	スマート カンパニー	その他	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	30,581	26,848	3,581	701	61,713	—	61,713
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,916	—	—	2,970	12,887	△12,887	—
計	40,497	26,848	3,581	3,672	74,600	△12,887	61,713
セグメント利益	2,197	246	65	165	2,675	25	2,701

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鋼(ハガネ) カンパニー	鍛(キタエル) カンパニー	スマート カンパニー	その他	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	33,035	26,546	3,515	767	63,865	—	63,865
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,330	—	—	3,565	12,896	△12,896	—
計	42,366	26,546	3,515	4,332	76,761	△12,896	63,865
セグメント利益	2,077	652	62	209	3,002	△14	2,987

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	86円70銭	89円89銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	1,706	1,769
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	1,706	1,769
普通株式の期中平均株式数(千株)	19,683	19,682

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

愛知製鋼株式会社
取締役会 御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中嶋 康博 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 氏原 亜由美 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている愛知製鋼株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、愛知製鋼株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。